

現代ネパール山間地域における疾病認識と身体観の変容

2 型糖尿病患者の事例から

平成 26 年入学

派遣先国：ネパール連邦民主共和国

中村 友香

キーワード：非感染性慢性疾患，疾病認識，地域医療，身体観

対象とする問題の概要

ネパールでは，ほかの発展途上国において指摘されるように医療援助等に基づく近代医療の拡大や医療技術の発展が起こっている。これに伴い，身体異常や疾病が例えば体温や血圧，血糖値などの数値で判断される傾向も拡大したと言われる。また，食や生活習慣の変化等による栄養転換を背景として，感染症中心の疾病動態から非感染性慢性疾患中心の疾病動態への疾病構造の変化も起こっている。このように医療や生活自体の近代化に起因して，非感染性慢性疾患の増加が指摘されている。しかし，地域コミュニティや医療機関において，非感染性慢性疾患が単に近代医学に基づく説明によってのみ理解されているわけではない。非感染性慢性疾患の説明の背景には，現代の社会状況への認識や身体観が影響していると考えられる。罹患率の上昇が想定される非感染性慢性疾患に対して，医学的知見からのみならず，社会文化的側面から理解することが求められるだろう。

研究目的

ネパールにおいて近年増加したと指摘される非感染性慢性疾患は，近代医学的知識や技術の拡大とともに疾病が確認されるようになった。つまり，患者は身体的症状がない場合でも計測される数値によって患者とみなされるようになった。しかし疾病を地域住民が認識し説明する際には，近代医学的知識や技術にのみ基づく説明をするわけではない。

そこで本研究では，有病率の上昇が指摘される非感染性慢性疾患の一つである 2 型糖尿病の事例を基



に，近代医学と地域社会状況の両方から影響を受けた身体観を明らかにすることを目的とする。また，その身体観の背景となる医療状況や社会文化背景の要因を明らかにし，身体と病いの社会文化的側面について検討したい。現代ネパールにおける身体観を明らかにすることは，身体と病いの社会文化的側面について理解することのみならず，医療従事者と患者との関係の改善など医療実践の方向付けに資する。

写真 1：カトマンズ市内 糖尿病センターの看板

フィールドワークから得られた知見について

本調査は、ネパールの首都カトマンズの南西に位置するキルティプール市とその周辺村落において、2015年9月9日～2015年9月18日まで行った。調査では、2型糖尿病患者やその家族、地域住民へのインタビュー調査、キルティプール病院のコミュニティ部門が行う保健サービスの直接観察の手法を用いた。本調査の対象地域には、総合病院であるキルティプール病院のほか、トリブバン大学付属のアーユルヴェーダ病院やヘルスポスト、小規模ではあるが多数の私立診療所や薬局が存在する。また、カトマンズまでの距離は7キロ程度で、受診やのためにカトマンズ市内まで日常的に出向く住民も少なからずいた。全ての医療機関の情報を実際に調査することはできなかったが、住民の話によるとキルティプールにある私立診療所や薬局



写真2：キルティプール市内の様子

では簡易的な血液検査を行うことができるようだ。また、ヘルスポスト以外の医療機関では糖尿病や高血圧等の薬が常備されており、必要なものがない場合も数日でカトマンズから取り寄せることが可能である。40歳代以上では、定期的に検査をうけ、自らの血圧等を知っている住民も少なくない。



写真3：血圧の定期検査

糖尿病（チニログ、シュガーログ、マドゥメハ）については、疾病の名称を知らない対象者はおらず、高齢者や年少の子どもでも聞いたことがあり、知り合いや親族に患者がいると多くが説明した。ただし1型と2型の区別を知っているものは少数であり、治療法としても食事療法から瞑想まで様々なものが回答された。多くの対象者が「糖尿病は増加した」と述べており、その理由として民主化に伴う経済発展、生計の変化や食生活と食材の変化などの社会変化や、tension（かつて西洋精神医学で使用されていた神経症やストレスに近い意味を持つ

ていると言えそうであるが、定義については更なる考察が必要である）の増加を挙げた。また糖尿病のほかに高血圧が深刻であり、全員が共通してtensionが原因だと指摘した。このように医学的数値で健康状態を計測し、その数値の異常を社会状況に求めていると言える。

今後の展開・反省点

今後は、特に以下の3点について取り組みたい。まず1点目は、医療関係者を対象とした情報の収集である。本調査では糖尿病患者や一般住民を中心に調査を行ったが、医療従事者の指導や実践、認識についても視野に入れて調査すべきである。2点目は、ネパールにおける医療を取り巻く社会状況の分析である。医療機器や検査技術の歴史や普及、メディアや学校教育を通じた健康教育などにも注目し、個別的な疾病認識の土台となる社会的背景を明らかにすべきである。3点目は糖尿病が増加した理由として挙げられた諸要因についてより詳細な検討をしたい。今後は、より長期で現地調査を行う機会を得て、様々な社会背景と更に関連付けながら身体観と医療状況を明らかにしたい。